

未来を開くヒント

社会課題解決を技術とパートナーシップで



上野 幹夫 氏

日外協 会長 (中外製薬株) 特別顧問

佐々木 経世 氏

イーソリューションズ(株) 代表取締役社長

2025年の幕が^あ開けた。

新春特別対談のお相手は、社会課題解決に挑む
イーソリューションズ代表の佐々木^{けいしん}経世さん。

SDGsのゴールまであと5年。世界をより良い方向へ、子どもたちの未来のために。

上野 佐々木さんは、ブレイクスルーとなる技術要素を活用して、様々なステークホルダーを巻き込んで社会課題を解決するためのストーリーをつくっています。

最初にストーリー化の秘伝——— どのような技術要素があって、それをどこで見つけて、どうやって使うのかといった、プロセスについて教えてください。

早期発見で命を救う

佐々木 実は、技術が最初にあって次にそれをどのように使うか、「川上から川下へ」ではないんです。様々な社会課題を見て、なぜ起っているのか、それをどうやって解決するのか、そのために何が必要なのか、「川下から川上へ」

という流れで考えています。

企業が事業を通じて社会課題解決に貢献する、CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造) を徹底してやり遂げるためのプロジェクトを幾つも立ち上げています。このうち、今最も注力している3つを例にお話ししたいと思います。

1 番目の社会課題は、健康寿命が短いということです。

上野 健康は何より大切ですね。人生100年時代といっても、健康で生き続けなければなりません。しかし日本では平均寿命は延びたのに、健康寿命との差はここ20年を見てもそれほど縮まっていません。2001年から2019年までの健康寿命の伸び(男性3.28年、女性2.73年)